

2014 年度 名古屋大学大学院
多元数理科学研究科博士課程（後期課程）
入学試験（10月入学）について

1. 後期課程10月入学は、より多様な人材が後期課程で学ぶ機会を設けるため、2010年度から始まった制度です。前期課程（修士課程）修了後、教育機関や民間企業等に就職しているながら、なお数学・数理科学の研究を継続したいと考えている人も対象といたします。

社会人の方が後期課程で学ぶには時間的制約が多々あるものと思われます。そういった状況でも、夕方からの時間や休日を利用したり、また、メールやWebでのリモートセミナーなど様々な方法を通じて指導を受けることが考えられます。その場合でも、面談による直接の指導に勝るものはありません。時間を工面することでそういった機会を確保するという覚悟も必要となります。

2. 入学試験は口述試験のみです。口述試験の結果と提出された修士論文、研究計画書に基づいて、合否を判定します。

3. 口述試験では、

- 1) 学部レベルの数学、各専門分野における基本事項。
- 2) 提出された修士論文、研究計画書（その背景にある数学の内容）。

を題材として、簡単な質問をいくつかします。そのやりとりを通じて、数学の基礎能力やコミュニケーション能力を見ます。1) については、基礎的な概念や定理、よく出てくる例や議論の理解を問います。問題集や過去の筆記試験の問題

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/gs/problems.html>

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/gs/exam.html>

がありますので、準備に役立ててください。また、修士論文および研究計画書の内容についてはその要点が簡潔に説明できるよう事前に十分に準備し、口述試験にのぞんでください。